

平成28年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 ユニバーサルデザインの推進
-----	-----------------

施策主管課	保健福祉総務課	総合計画記載頁	95ページ
-------	---------	---------	-------

1 施策の位置付け

政策の柱	1 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために	政策名 (基本施策名)	5 都市の福祉力を高める	政策の達成目標 (基本施策目標)	充実した保健・福祉サービスにより、住み慣れた地域において自立した生活を送っています。
------	-----------------------------	----------------	--------------	---------------------	--

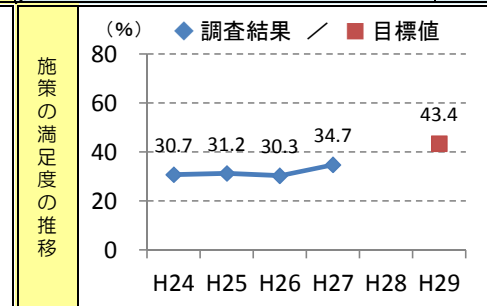
2 施策の取組状況

施策目標	市民が地域の福祉活動に積極的に参画しています。
------	-------------------------

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果 指標3	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価
	指標1	市有施設のバリアフリー化施設の割合(%)	単年度目標値	67.8	69.6	71.4	73.2	75.0			76.8	A	調査結果	施策の満足度(%)	30.7%	31.2%	30.3%	34.7%	
現状値			65.8%	実績値	67.1	71.6	72.3	72.9											
目標値(H29)		76.8%	単年度の達成度	99.0%	102.9%	101.3%	99.6%												
指標2	障がい者シンボルマーク等の認知度(%)	単年度目標値	48.2	51.5	54.8	58.1	61.4	64.7	B	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)	B								
		現状値	44.9%	実績値	44.6	45.2	44.1	46.5											
	目標値(H29)	64.7%	単年度の達成度	92.5%	87.8%	80.5%	80.0%												
【参考】中核市等との水準比較	中核市平均	単年度目標値							中核市等との水準比較	中核市での本市の順位	中核市平均								
		現状値																	
	目標値(H29)																		

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



評価項目	A	B	C
① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

施策を取り巻く環境等	・国では、平成20年3月にバリアフリー・ユニバーサルデザインの推進に関する基本的な方針として「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進要綱」を定め推進している。 ・少子高齢化や核家族化が進む中、誰もが日常生活の中で、手助け・見守り・声かけなどを自然に行えるよう、やさしさや思いやりの心を育むことや公共的施設・移動手段など生活基盤のバリアフリー化などを推進していく必要がある。	市民満足度	・公共的施設や道路・公共交通などの生活基盤のバリアフリー推進や、「福祉のまちづくりポスターコンクール」の開催、「ユニバーサルデザイン文書マニュアル」作成・周知など、こころのユニバーサルデザインの周知啓発に取り組んでおり、市民満足度は上昇している。	総合評価	79点 概ね順調
施策指標	・市有施設のバリアフリー化については、計画的に整備を進めており、概ね順調である。 ・障がい者シンボルマークの認知度については、各種イベントや小中学校、保健と福祉の出前講座などにおいて、継続して周知活動を実施しているが、認知度のアンケート結果としては横ばいである。				

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象, ★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業の目的	事業内容		事業の 進捗状況	H27 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	こころのユニバーサルデザイン推進事業	○★	市民の福祉意識の高揚	市民	・福祉のまちづくりポスターコンクール開催 ・啓発用ポスター, チラシ, ハンドブック等の作成配布	計画どおり	658	H20		誰もが日常生活の中で手助け・見守り・声かけなどを自然に行えるよう, 様々な啓発活動を実施していく。
2	やさしさをはぐむ福祉のまちづくり公共的施設整備費補助金	★	公共的施設のバリアフリー化の推進	本市区域内に公共的施設の新設または改修を行う事業者	補助対象整備箇所(傾斜路・手すり・エレベーター・便所)の整備費の一部を補助	計画どおり	0	H12		すべての市民が公共的施設を安全かつ円滑に利用できるよう, 公共的施設のバリアフリー整備について周知を図り, 補助制度を実施していく。
3	市有施設及び交通環境のバリアフリーの推進	★	市有施設及び交通環境のバリアフリー化の推進	市民	・市有施設のバリアフリー化推進 ・交通環境のバリアフリーの推進	計画どおり	-	H13		バリアフリー整備について, 利用状況や地域バランスなどを考慮して検討し, 整備所管課と連携を図って, 計画的にバリアフリーを推進していく。
4	公園のバリアフリー化整備事業	★	公園のバリアフリー化	高齢者や障がい者をはじめとした公園利用者	出入口の改修 水飲み器の改修	計画どおり	12,338	H13		公園のバリアフリー化について, 誰もが利用しやすく, 安心して親しめる場とするため, 計画的に進めていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆こころのユニバーサルデザインの推進については, 他者を理解し, やさしさや思いやり, 互いを尊重する気持ち(福祉のこころ)を活動につなげる施策が求められている。 ◆バリアフリーについては, 公共的施設のバリアフリー化や交通環境充実といった都市基盤の整備などを進め, 住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせる施策が求められている。 	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉 ◆誰もが快適な生活が送れるよう, 円滑な移動を確保しながら, 多様かつ身近な生活基盤のバリアフリー化を計画的に推進するとともに, 日常生活の中で手助け・見守り・声かけなどが自然に行えるよう, 様々な啓発活動により, やさしさや思いやりの心を育む運動を推進していく。</p> <p>〈主要事業〉 ◆こころのユニバーサルデザイン推進事業 福祉のまちづくりポスターコンクールの開催, 障がい者シンボルマークや「こころのユニバーサルデザイン文書マニュアル」の周知のほか, 福祉関係団体が開催する福祉イベントや体験型研修等の支援など, 継続して啓発活動に取り組んでいく。</p> <p>◆やさしさをはぐむ福祉のまちづくり公共的施設整備費補助金 公共的施設のバリアフリー整備について, 周知を図り補助制度を実施していく。</p> <p>◆市有施設及び交通環境のバリアフリーの推進 施設所管課と連携を図りながら, 計画的にバリアフリー整備を進める。</p> <p>◆公園のバリアフリー化整備事業 利用しやすく, 安心して親しめる場とするため, 計画的に公園のバリアフリー化を進める。</p> <p>〈その他個別事業〉</p>